

いわて スーパーキッズ Superkids

平成19年にスタートした、いわてスーパーキッズ1期生が来年度は高校2～3年生となります。『岩手から世界へ』をスローガンに展開してきた事業で、出会った競技に転向しその才能を発揮する選手たちが増えています。



いわてスーパーキッズ1期生の成長



スーパーキッズ 1期生

高橋 朝香

花巻東高校 陸上競技部 1年生

陸上競技 → 女子7人制ラグビー

本事業で女子7人制ラグビーに会う。12月に行われたU18花園女子セブンズ普及の部に東軍のメンバーとして出場した。将来は日本代表、そしてオリンピック出場という大舞台での活躍を目指している。



スーパーキッズ 1期生

三浦 元絆

盛岡農業高校 自転車競技部 2年生

柔道、卓球、野球 → 自転車競技

スクールで自転車への適性を評価され競技転向。岐阜国体では少年スプリントで4位入賞した三浦。競技を始めて2年ほど、経験を積み重ねることで更なる活躍が期待される。

ぎふ清流国体 自転車
少年スプリント進々決勝
(岩手日報2012年10月5日)

スポーツのために、
人のために、
地球のために。



MIZUNOの“こころ”をこめて、
作っています。

「ええもん作りなはれや」

この創業者水野利八の言葉こそ、MIZUNOの“こころ”。だから、いつの時代も「より良いスポーツ品」をお届けしてきました。

いまという時代の「より良いスポーツ品」は、「ひとりひとりに高機能で、そしてエコ」な製品です。例えば、「MIZUNO WAVE」は、「ひまし油」由来の樹脂から製造することでCO₂を削減。プロ野球選手の多くが使用するバットやグラブは、端材や残革をグッズにして資源を有効活用しています。

スポーツのために、人のために、地球のために。

“こころ”をこめて、作ります。

MIZUNOは…

テクノロジー &
クラフトマンシップ
with エコ



明日は、きっと、できる。